

学校保健の現状と課題について



令和6年5月28日(火)

福岡県教育庁教育振興部

体育スポーツ健康課

指導主事 新田 聖

〇〇の経験がある高校生の特徴

- 1 男性より女性が多い
- 2 生活習慣での特徴
(睡眠時間が短い、朝食を食べない頻度が高い、インターネット使用時間が長い)
- 3 学校生活での特徴
(学校が楽しくない、親しく遊べる友人や相談ができる友人がいない)
- 4 家庭生活での特徴
(親に相談できない、大人不在で過ごす時間が長い、家族との夕食頻度が少ない)
- 5 コロナ禍による自粛生活に対するストレスが高い

共通項・・・社会的孤立

健康に関する現代的課題

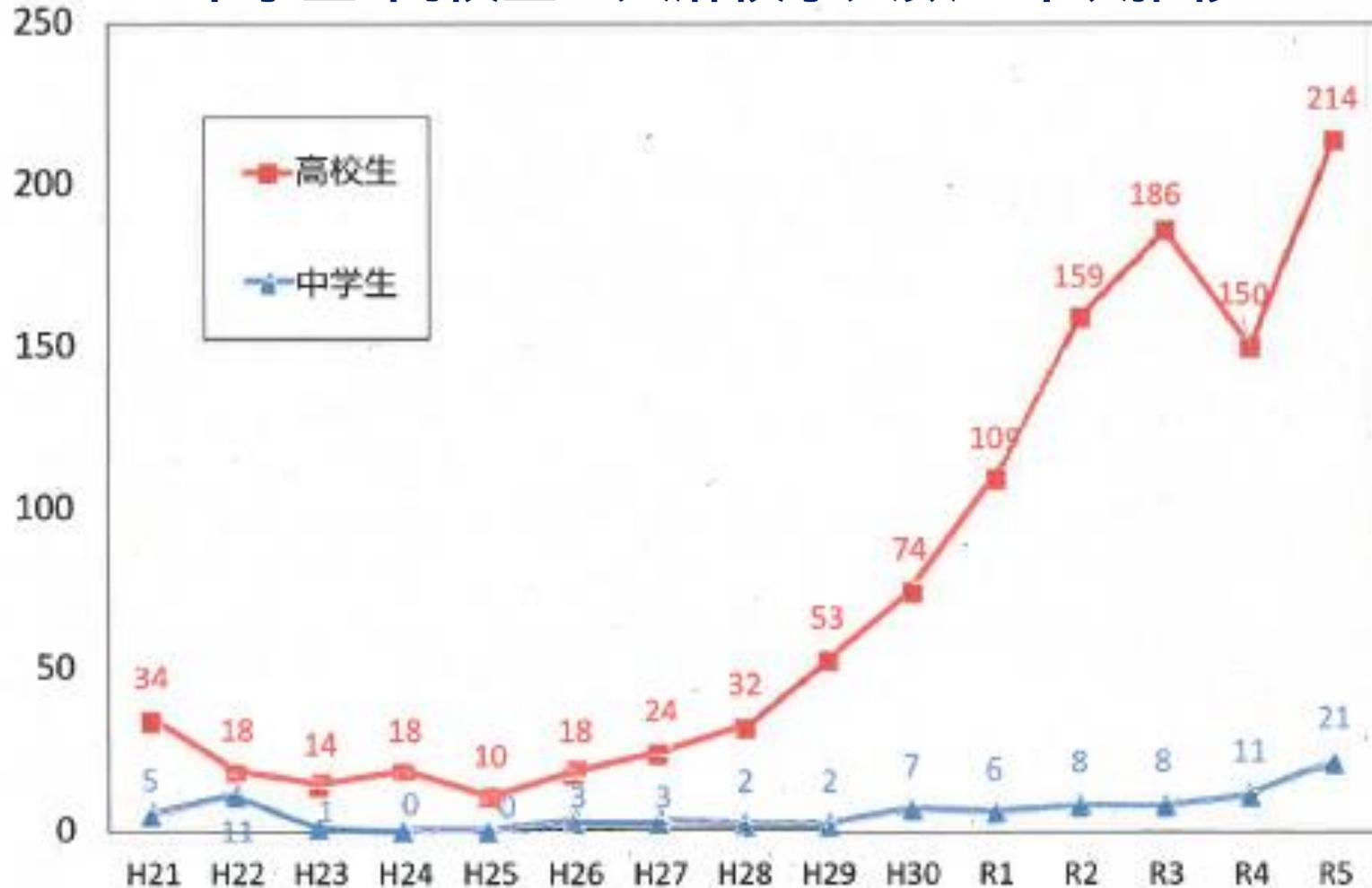
- ア 薬物等乱用の問題（飲酒・喫煙・シンナー・覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等）
- イ 性に関する問題（援助交際・出会い系サイト等）
- ウ 生活習慣の乱れや生活習慣病の問題（食生活の乱れ・運動不足・肥満等）
- エ メンタルヘルスに関する問題（いじめ・自殺・不登校・保健室登校・児童虐待・ヤングケアラー等）
- オ 感染症の問題（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻しん・風しん・エイズ等）
- カ アレルギー疾患の問題（食物アレルギー・アナフィラキシー等）
- キ 学校環境衛生の問題（シックハウス症候群・ダニアレルギー・PM2.5・熱中症等）
- ク 安全に関する問題（防犯・防災・交通安全等）

学校保健の現状と課題について

ア 薬物等乱用の問題(飲酒・喫煙・シンナー・覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等)

全国

中学生・高校生の大麻検挙人数の年次推移



令和5年における組織犯罪の情勢(令和6年3月警察庁組織犯罪対策部)、
平成30年における組織犯罪の情勢(平成31年3月警察庁組織犯罪対策部)、
平成25年の薬物・銃器情勢(平成26年3月警察庁刑事局組織犯罪対策部薬物銃器対策課)より作成

学校保健の現状と課題について

ア 薬物等乱用の問題(飲酒・喫煙・シンナー・覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等)

福岡県

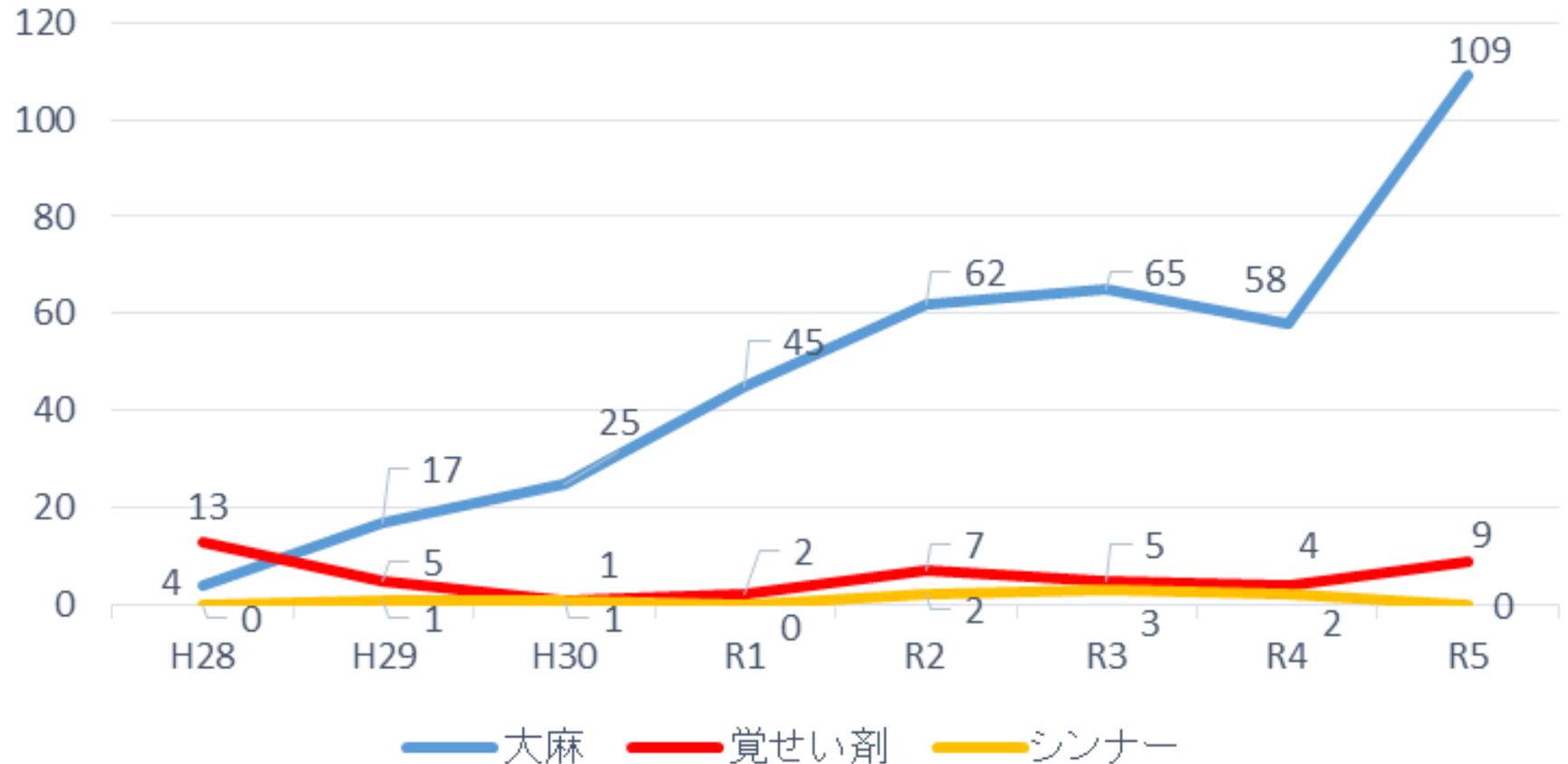
大麻取締法違反で
検挙された少年は

109名

令和4年から比較すると、
令和5年は約2倍となっており、
依然として憂慮すべき
状況が続いている。

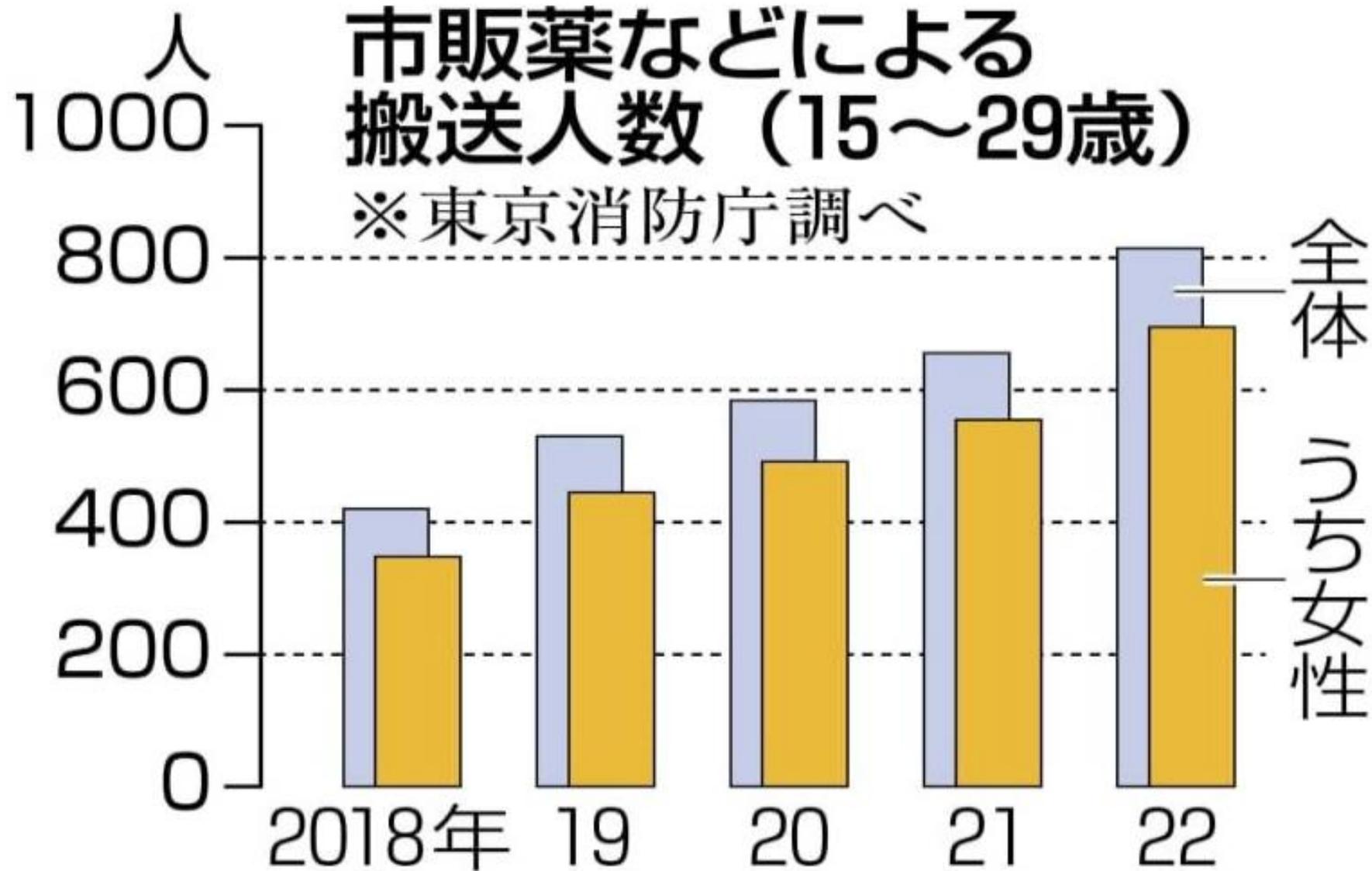
(うち **高校生8名**)

薬物乱用少年検挙補導件数推移



学校保健の現状と課題について

ア 薬物等乱用の問題(飲酒・喫煙・シンナー・覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等)

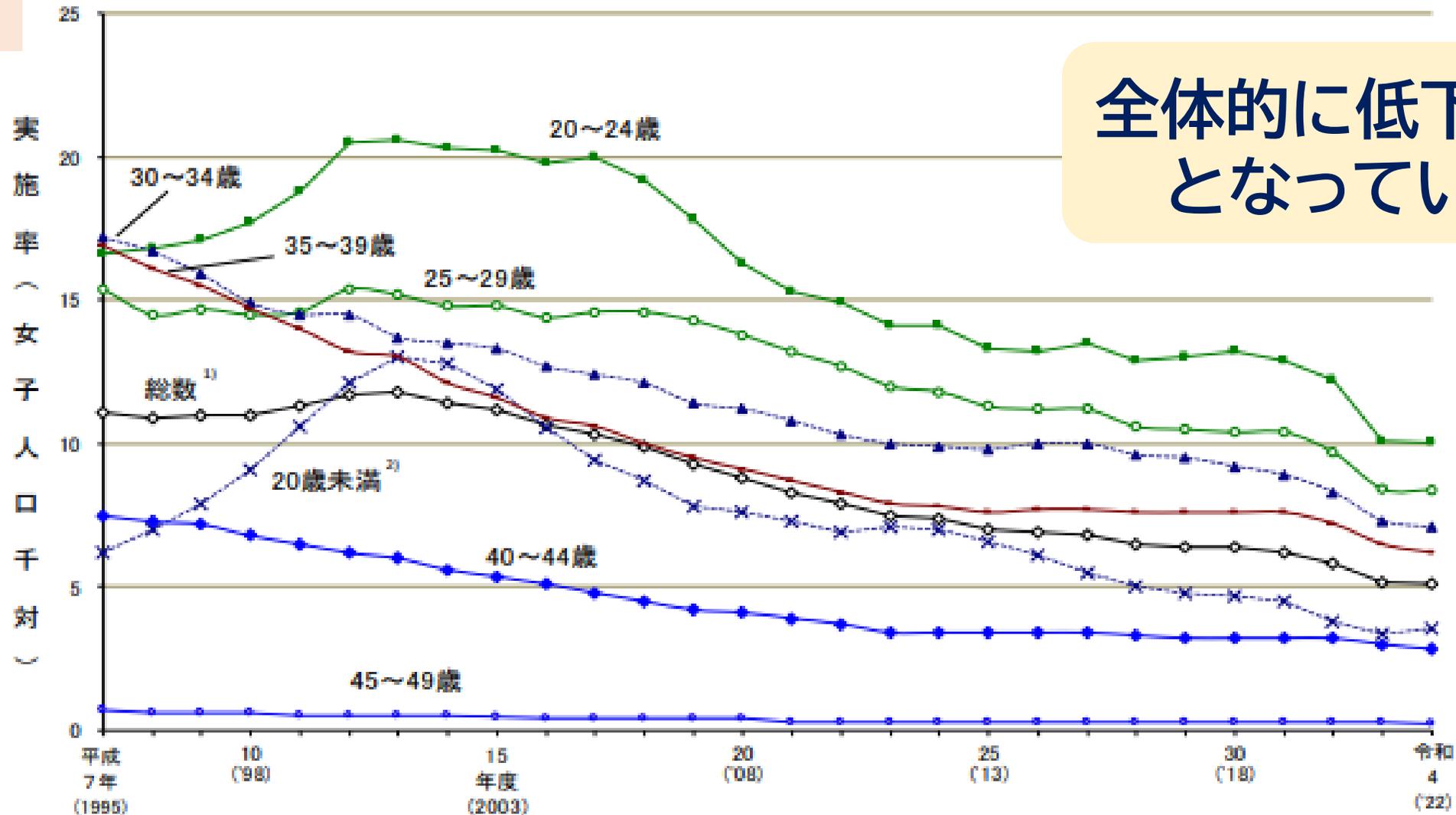


学校保健の現状と課題について

イ 性に関する問題(援助交際・出会い系サイト等)

全国

年齢階級別にみた人工妊娠中絶実施率(女子人口千対)の年次推移 各年(度)



学校保健の現状と課題について

イ 性に関する問題(援助交際・出会い系サイト等)

別添

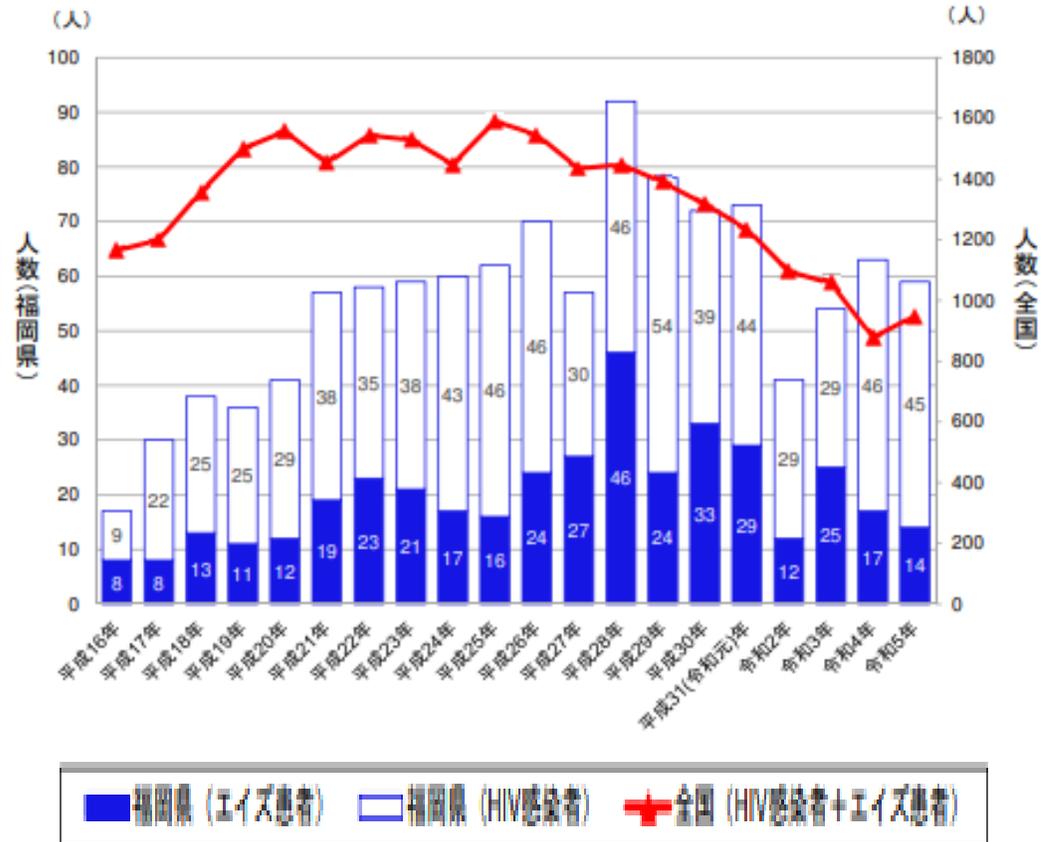
全国

福岡県

(1)新規HIV感染者・エイズ患者報告数の年次推移

<速報値>

年	HIV感染者	エイズ患者	総数
平成16年	9	8	17
平成17年	22	8	30
平成18年	25	13	38
平成19年	25	11	36
平成20年	29	12	41
平成21年	38	19	57
平成22年	35	23	58
平成23年	38	21	59
平成24年	43	17	60
平成25年	46	16	62
平成26年	46	24	70
平成27年	30	27	57
平成28年	46	46	92
平成29年	54	24	78
平成30年	39	33	72
平成31 (令和元)年	44	29	73
令和2年	29	12	41
令和3年	29	25	54
令和4年	46	17	63
令和5年	45	14	59

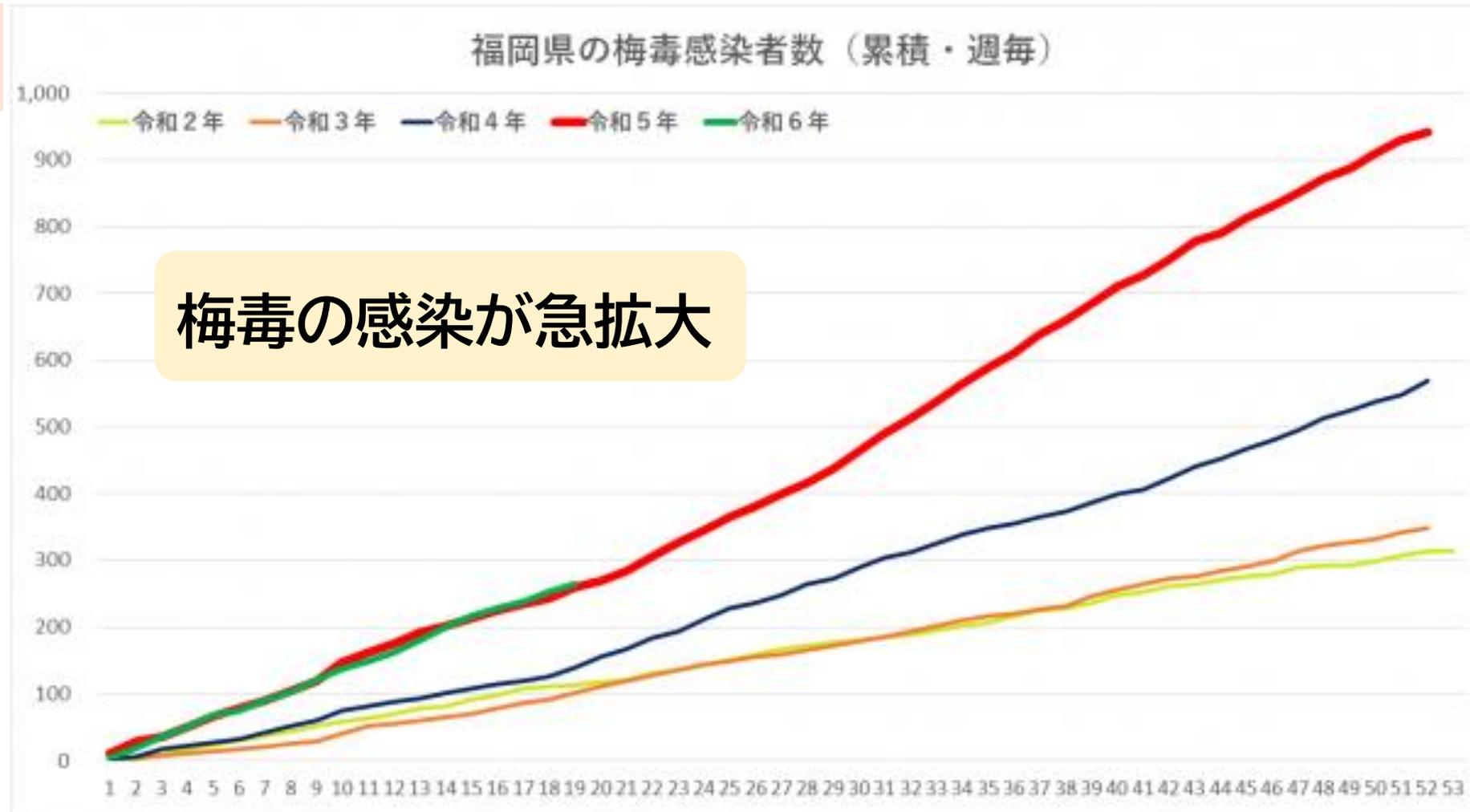


学校保健の現状と課題について

イ 性に関する問題(援助交際・出会い系サイト等)

●福岡県内週毎の報告数(令和2年～令和6年比較)

福岡県

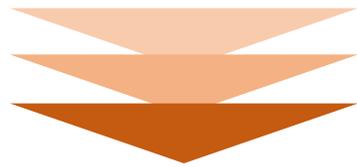


学校保健の現状と課題について

イ 性に関する問題(援助交際・出会い系サイト等)

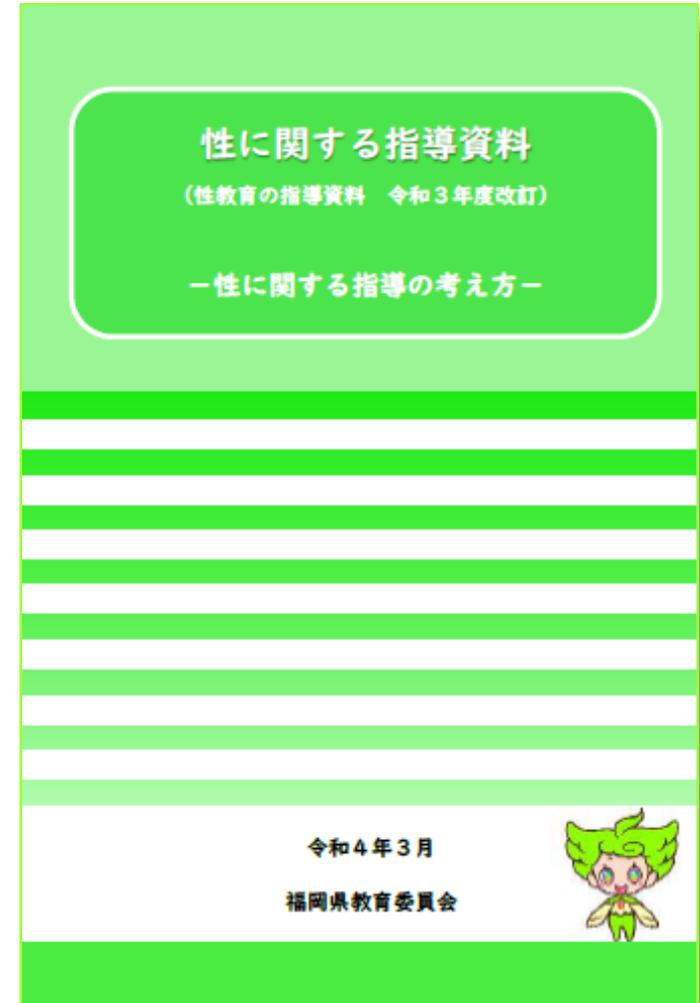
現状

性情報の氾濫、性の逸脱行動、性感染症や予期せぬ妊娠等



目標

性に関する正しい理解と適切な行動ができる資質・能力を身に付ける



ウ 生活習慣の乱れや生活習慣病の問題(食生活の乱れ・運動不足・肥満等)

文科省 学校保健統計調査 結果のポイント

【健康状態調査】

- 裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれて高くなっており、小学校で3割を超えて、中学校では約6割、高等学校では約7割となっている。
- むし歯(う歯)の者の割合は、小学校・高等学校で4割以下、幼稚園・中学校では3割以下となっている。

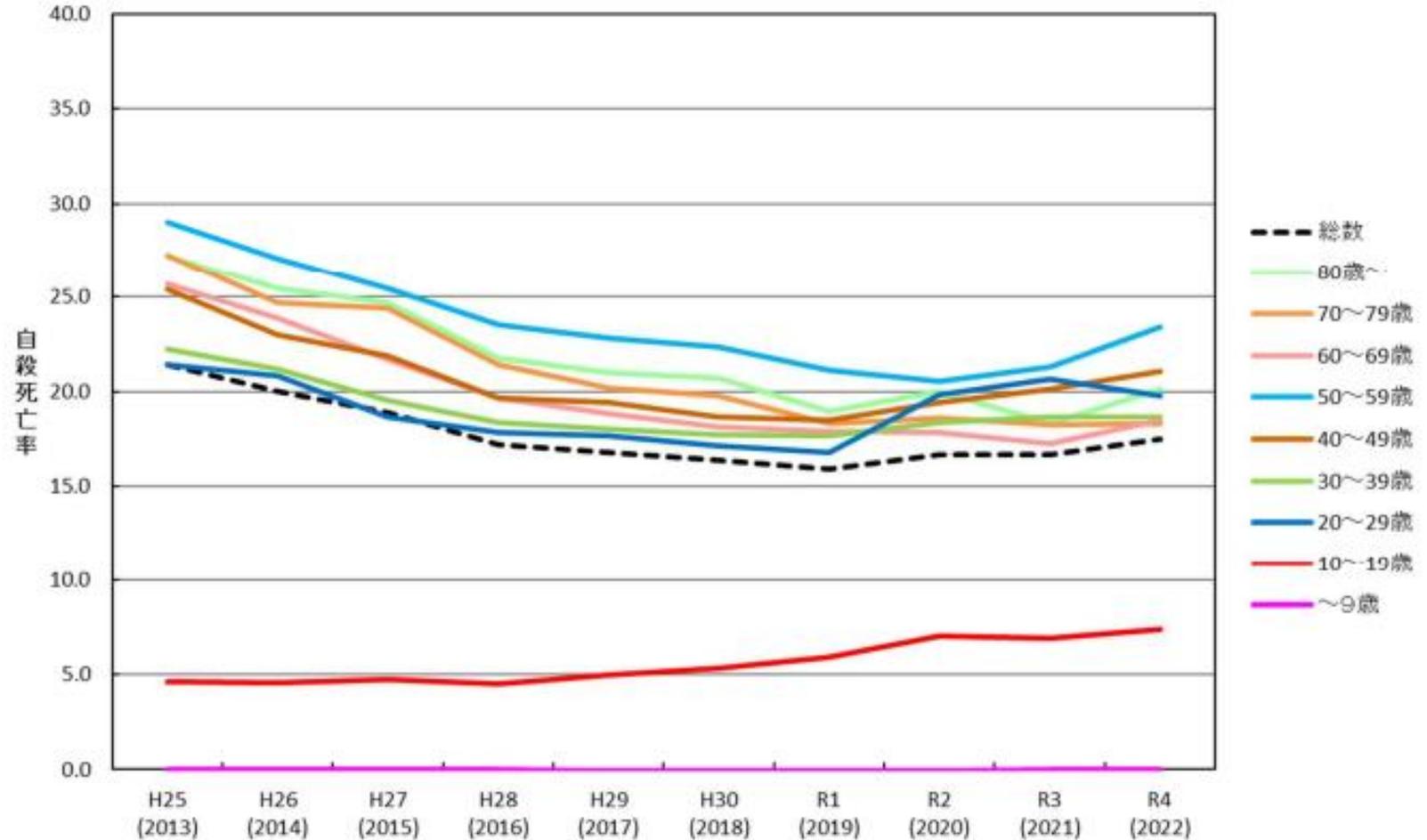
学校保健の現状と課題について

エ メンタルヘルスに関する問題(いじめ・自殺・不登校・保健室登校・児童虐待・ヤングケアラー等)

全国

- 令和4年度は、令和3年度と比較して、20代のみ低下
- 10代は、微増傾向が続いている

年齢階級別自殺死亡率の年次推移



学校保健の現状と課題について

才 感染症の問題(新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風しん・エイズ等)



学校において予防すべき
感染症の解説

〈令和5年度改訂〉

公益財団法人 日本学校保健会

新型コロナウイルス感染症に感染された方へ

症状が長引く^{りかん} (罹患後症状)

ことがあることを知っていますか

新型コロナウイルス感染症にかかった後、ほとんどの方は時間経過とともに症状が改善します。いまだ不明な点が多いですが、一部の方で長引く症状(罹患後症状、いわゆる後遺症)があることがわかってきました。

^{りかん}
罹患後症状の例

疲労感・倦怠感	関節痛	筋肉痛	咳
喀痰	息切れ	胸痛	肌毛
記憶障害	集中力低下	頭痛	抑うつ
嗅覚障害	味覚障害	動悸	下痢
腹痛	睡眠障害	筋力低下	

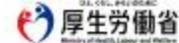
(参考1) 新型コロナウイルス感染症診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00402.html#2_free14

(参考2) WHO(世界保健機関)は、罹患後症状について「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2カ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの、通常は発症から3カ月経った時点にもみられる。」と定義しています。

症状が改善せず続く場合には…?
(新たに症状が出現した場合も含まれます。)

かかりつけ医等や 地域の医療機関に相談しましょう。

※ 各都道府県における新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関をWEBページに掲載しています。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kankou_jyuu/covid19-kikokusyasosyokusya_00005.html

 厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

令和5年10月20日作成

学校保健の現状と課題について

保健室利用状況調査より

- 「保健室利用状況に関する調査報告書
(令和4年度調査結果)」
- 調査期間
令和4年10月の第3週(10/17~21)
- 調査の目的
児童生徒をはじめ、教職員及び保護者の保健室の利用状況等の実態から、児童生徒の心身の健康問題等を把握し、その解決に向けて養護教諭等の役割を明らかにすることによって、児童生徒の心身の健康づくりの充実に資する。



令和6年3月 日本学校保健会

学校保健の現状と課題について

保健室利用状況調査より

養護教諭が過去1年間に把握した心身の健康に関する状況

体の健康に関する主な事項(学校種別)

(千人当たりの児童生徒数) 単位:人

全国

	体の健康に関する主な事項	小学校	中学校	高等学校	全体
1	肥満傾向(肥満度による)	71.4	69.8	61.0	69.2
2	糖尿病	0.5	1.0	1.1	0.7
3	腎臓病	2.8	3.8	3.3	3.2
4	心臓病	12.8	14.1	13.5	13.3
5	ぜん息	46.1	36.7	30.9	40.9
6	アトピー性皮膚炎	50.5	49.5	43.0	48.9
7	アレルギー性結膜炎	45.7	54.5	46.1	48.1
8	アレルギー性鼻炎	124.2	159.6	135.2	135.7
9	食物アレルギー	51.8	62.2	63.5	56.6
10	アドレナリン自己注射薬の処方を受けている	5.2	4.1	3.4	4.6
11	その他のアレルギー	31.6	39.3	40.4	35.2
12	てんかん等	4.9	6.4	4.8	5.3
13	血液疾患	0.6	1.4	2.1	1.1
14	月経に関する問題	1.2	7.1	12.7	4.7
15	眼科疾患に関する問題	8.4	9.8	7.9	8.7
16	耳鼻科疾患に関する問題	10.1	12.6	9.9	10.7
17	スポーツ障害等に関する問題	1.6	6.1	6.8	3.7
18	その他	5.4	12.6	15.2	9.0

学校保健の現状と課題について

保健室利用状況調査より

養護教諭が過去1年間に把握した心身の健康に関する状況

心の健康に関する主な事項(学校種別)

(千人当たりの児童生徒数) 単位:人

全国

	心の健康に関する主な事項	小学校	中学校	高等学校	全体
19	いじめに関する問題	23.3	14.4	3.2	17.4
20	友達との人間関係に関する問題	25.1	29.3	20.4	25.5
21	家族との人間関係に関する問題	5.4	11.3	9.5	7.7
22	教職員との人間関係に関する問題	2.1	3.8	3.1	2.7
23	児童虐待に関する問題	4.0	3.4	1.8	3.5
24	不眠等の睡眠障害に関する問題	0.8	3.2	3.1	1.8
25	過換気症候群	0.2	2.1	3.1	1.2
26	過敏性腸症候群	0.7	3.4	5.0	2.2
27	上記26以外の心身症に関する問題	1.1	3.7	4.1	2.3
28	性に関する問題	0.5	2.6	2.1	1.4
29	拒食や過食等の摂食障害に関する問題	0.4	1.5	1.4	0.9
30	リストカット等の自傷行為に関する問題	1.2	7.4	3.5	3.3
31	精神疾患(総合失調症、うつ等疑いを含む)に関する問題	0.5	3.4	4.9	2.0
32	発達障害(疑いを含む)に関する問題	26.8	24.4	14.5	24.0
33	その他	0.9	2.6	3.7	1.8

学校保健の現状と課題について

保健管理に関すること

【色覚検査について】

- ・平成15年度から健康診断の必須項目から削除されているが、学校医による健康相談において、児童生徒や保護者の事前の同意を得て個別に対応する。

※適切な対応ができる体制を整える。

- ・教職員が色覚特性に関する正しい知識を持ち、学習指導、進路指導等での配慮と適切な指導を行う。

【参考資料:日本学校保健会ホームページ】

- ・学校における色覚に関する資料
- ・みんなが見やすい色環境



学校保健の現状と課題について

保健管理に関すること

【脳脊髄液減少症について】

学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応についての御案内

更新日:2019年8月2日更新    

学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について

文部科学省からの通知を受け、「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について(依頼)」の通知文(平成29年3月27日28教体第4730号)を市町村(学校組合)教育委員会及び県立学校に通知しています。

 [文部科学省からの通知文\(写\) \[PDFファイル/160KB\]](#)

【通知文】

学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について (平成29年3月27日 28教体第4730号)

脳脊髄液減少症とは、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛(立位によって増強する頭痛)などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患。

福岡県庁HPからも情報を得られます。

※ 適切な対応と学校生活上の配慮を行うことが必要です。

おわりに

健康に関する現代的課題の解決に向けて

課題＝解決すべき問題

<課題解決に向けて>

- 的確な現状把握
- 手立ての明確化



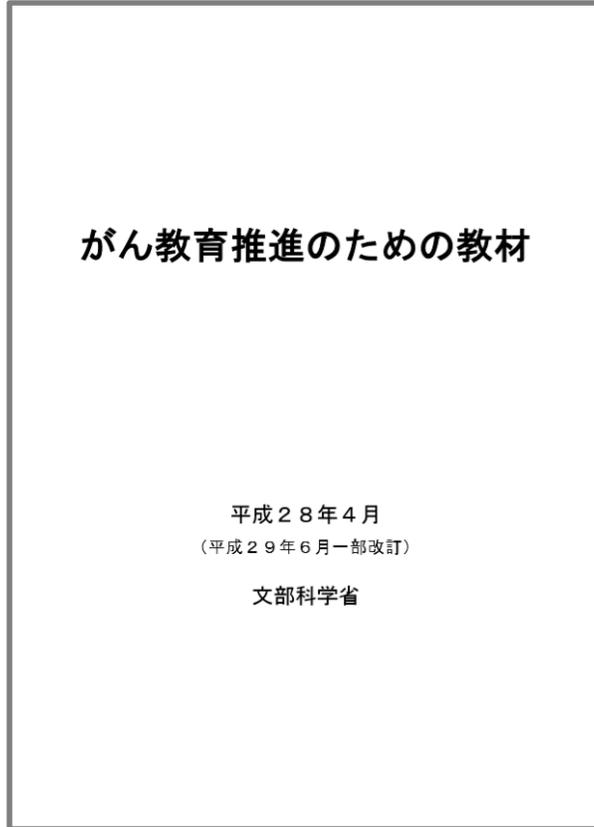
組織的に！



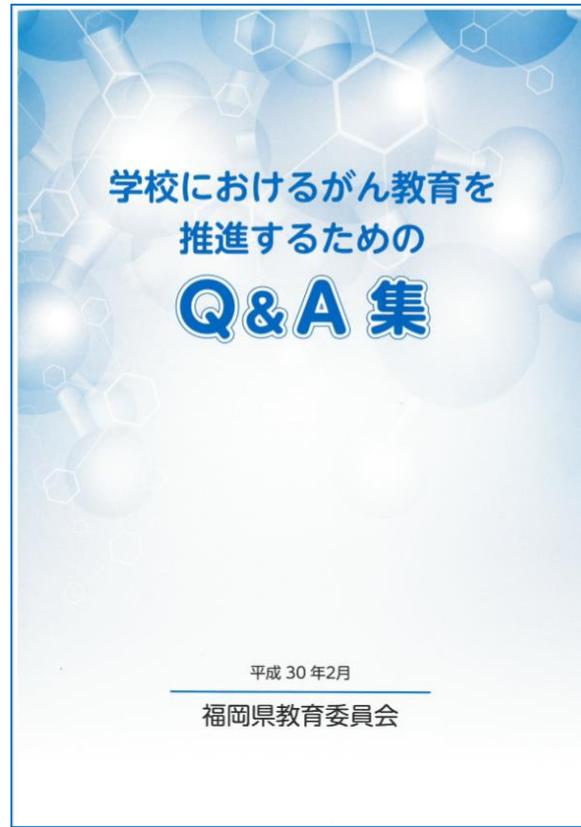
「**チーム学校**」として組織的に取り組むことが大切です。
特に、保健主事のみなさんの組織マネジメントが重要となります！

参考資料

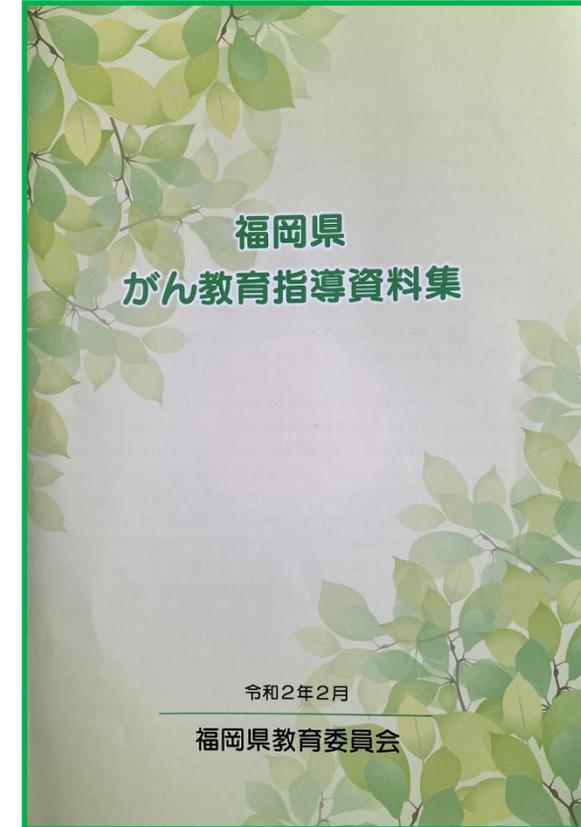
がん教育に関すること



がん教育推進のための教材
平成28年4月
文部科学省



学校におけるがん教育を
推進するためのQ&A集
平成30年2月
福岡県教育委員会



福岡県
がん教育指導資料集
令和2年2月
福岡県教育委員会

薬物乱用等防止教育に関すること



喫煙、飲酒、薬物乱用
防止に関する
指導参考資料
—令和3年度改訂—
(高等学校編)
令和4年3月

財団法人日本学校保健会



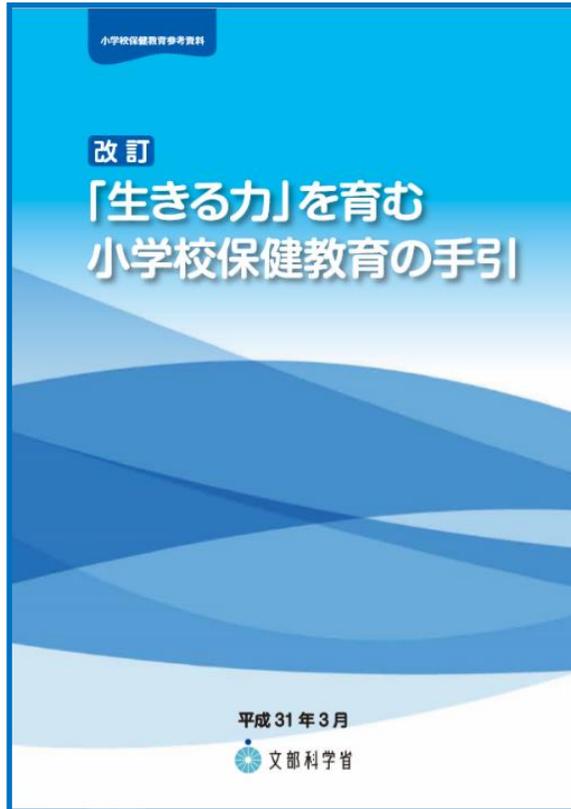
薬物乱用防止
教室マニュアル
(令和5年度改訂)
公益財団法人
日本学校保健会



福岡県薬物乱用防止啓発サイト
NODRUG FUKUOKA

参考資料

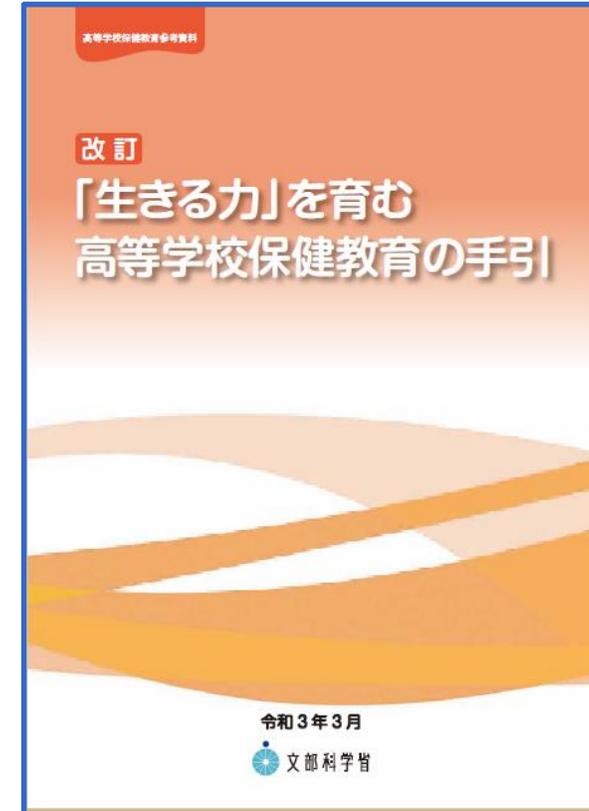
保健教育に関すること



改訂「生きる力」を育む
小学校保健教育の手引き
平成31年3月
文部科学省



改訂「生きる力」を育む
中学校保健教育の手引き
令和2年3月
文部科学省



改訂「生きる力」を育む
高等学校保健教育の手引
令和3年3月
文部科学省

文部科学省HPよりダウンロードできます。

参考資料

保健教育に関すること



「ギャンブル等依存症」などを
予防するために
平成31年3月
文部科学省



子供の足の健康のしおり
平成31年3月
公益財団法人
日本学校保健会



興味をもって取り組める医薬品の教育
平成31年3月
公益財団法人
日本学校保健会



心の健康ハンドブック
令和6年3月
公益財団法人
日本学校保健会

保健管理に関すること



平成21年3月
文部科学省



学校保健の課題とその対応
―養護教諭の職務等に関する調査結果から―
―令和2年度改訂―
令和3年3月
公益財団法人 日本学校保健会

保健管理に関すること

教師が知っておきたい
子どもの自殺予防

1998年以来、我が国では年間自殺者数が2万人を超え、深刻な社会問題となっています。この数は、交通事故死者数の5倍以上にもなります。なかでも最近高い自殺率を示している働きざかりの若年層の自殺に社会の関心が向けられてきました。しかし、子どもの自殺予防に対する関心は必ずしも高いとはいえないのが現実です。このリーフレットは、平成21年2月に児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議で取りまとめられた「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」のマニュアルの一冊を抜粋したものです。マニュアルは、教師の皆さんに自殺予防に関して是非とも知っておいていただきたい基礎知識を中心にまとめたものです。

自殺は「孤立の病」とも呼ばれています。子どもが発している痛みを求めている叫びに気付いて、周囲との絆を回復することこそが、自殺予防につながります。自殺が現実にならないうちに子どもは必ず「助けて」という必死の叫びを発しています。学校で毎日のように子どもに接している教師の皆さんこそが、この叫びを最初に受け止めるゲートキーパーでもあります。一人でこの問題を抱え込まずに、周囲の同僚たち、子どもの家族、医療従事者などと協力してこの危機に向き合ってください。

平成21年3月
文部科学省

教師が知っておきたい
子どもの自殺予防
平成21年 文部科学省

学校における
子供の心のケア

— サインを見逃さないために —

平成26年3月
文部科学省

学校における子供の心のケア
平成26年3月 文部科学省

保護者用
子供の心のケアのために

子供は危機に直面したり、環境の変化や人間関係等によってストレスを抱えると多くの場合、心身にストレスサイン(異変)が現れます。このストレスサインに気づき、早期に対応することによって重症化を防ぐことができます。そのためには、日頃の健康観察がとても重要です。ここでは子供の健康観察や家庭での対応のポイント等を示しました。

～いつもと違う子供の言動に気を配りましょう～

様々な子供のストレスサインが、保護者にとっては「困った行動」に見えることがあります。保護者が対応に困るような子供の行動が続くときには、「ストレスサインかもしれない」と考えてみるのが大切です。

行動の変化

- 学校に行きたがらない。
- 学習への意欲が乏しくなる。
- 家族に反抗的になる。
- 休日でも家に閉じこもりがちになる。
- ゲームや習い事など、好きなことでもやたがらない。
- ささいなことでも物を壊したり、人に攻撃的になったりする。
- 何箇所も手を洗ったり、少しの汚れで驚愕したりする。
- ささいな物音に驚く。
- 親のそばから離れない、強い甘えが見られる。
- 一人になるのを怖がる。

からだの反応

- 食欲がない、あるいは暴食になる。
- 体の痛みやかゆみを訴える。
- 眠れない。
- 夜尿が始まる、あるいは頻える。
- 以前には見られなかったチェックが出たり、チェックが激しくなる。

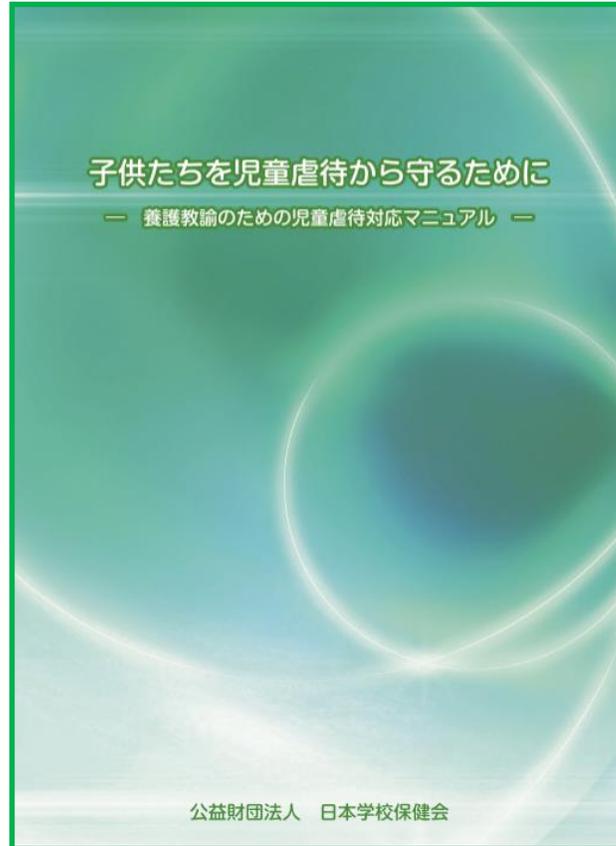
表情や会話

- ぼんやりしている。
- ささいなことでも泣く。
- 元気がない。
- 笑わなくなる。
- 喜怒哀楽が激しい、あるいは無表情になる。
- 学校や友達のことを話したくない。
- 一方的に話し、会話が成立しない。

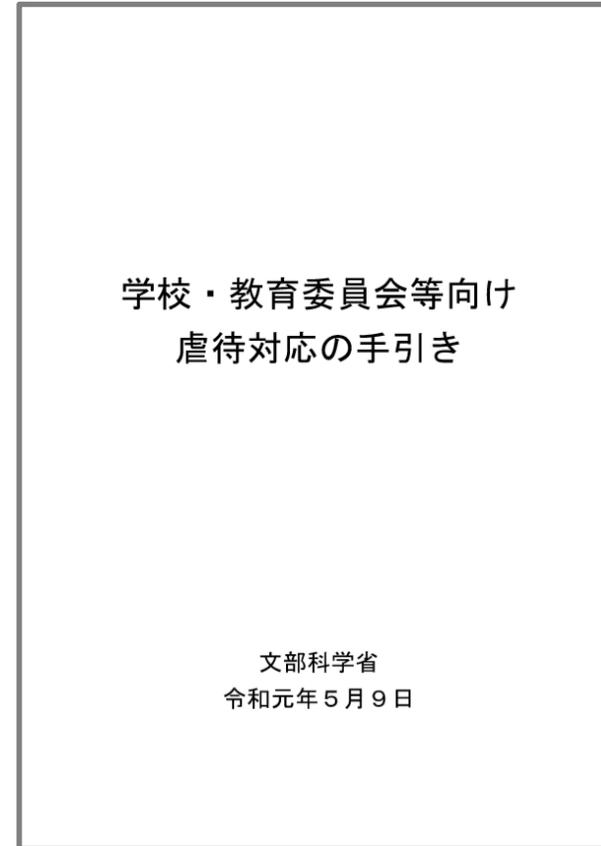
子供たちは家庭と学校とで異なる様子を見せることがあります。気になる様子が見られたら学校での様子を聞いてみると良いでしょう。

子供の心のケアのために
平成27年 文部科学省

保健管理に関すること

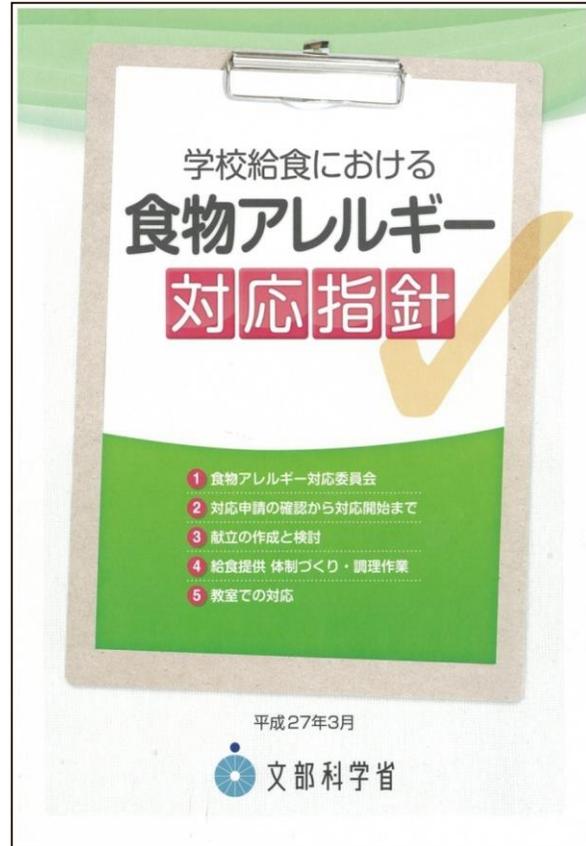


子供たちを児童虐待から守るために
平成26年 3月
公益財団法人 日本学校保健会

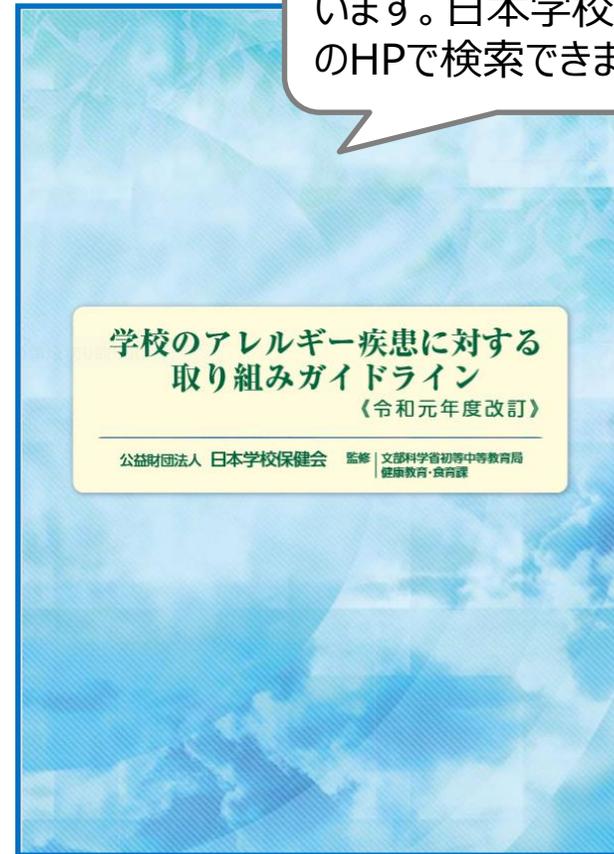


学校・教育委員会等向け
虐待対応の手引き
令和元年 5月 文部科学省

保健管理に関すること



学校給食における食物アレルギー対応指針
平成27年
文部科学省



令和元年度に改訂されています。日本学校保健会のHPで検索できます。

学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン
令和元年度改訂
財団法人 日本学校保健会